

第4章 聖化

□はじめに・・・ 聖化について、次のアウトラインにより学んでいます。

1. 「聖化」の意味

聖化に関連する9つのギリシヤ語が使われている箇所を見ると、「聖化」の基本的意味は、「別に取り分けること」であると、わかります。日本語聖書で「聖化」ではなく、「聖別」とも訳されるのは、そのためです。

2. 「別に取り分けること」の8つのパターン

誰が（何が）、誰を（何を）、別に取り分けるのでしょうか。
聖書では、8つのパターンがあります。

3. 「聖化」はどのようにして起きるのか 5つ

8つのパターンのうち、この学びで対象とするのは、神が信者をこの世とは別に取り分けてくださるパターンです。神学では、これを「聖化」と呼びます。それはどのようにして起きるのでしょうか。まず、信者が自分の清潔さや正しい行いに立たず、イエス・キリストにあるという地位に立つことです。このことをはじめとして、5つのことがポイントとなります。

4. 「聖化」の主体・動因・経路

前の「3.」では、聖化がどのようにして起きるのか、5つのポイントがありました。ここでは、聖化について、あらためて、主体、動因、経路の3つの局面から見ます。聖化は、①三位一体の神が主体となって起きることです。②神が働かれるとき、それは神の良きみこころから発するものです。③聖化は聖書に記された神のことばを通して行われます。

聖化の主体は三位一体の神、動因は神の良きみこころ、経路は神のことば、です。

5. 「聖化」のタイプ 4つ

聖書は、聖化のタイプが4つあることを教えています。

(1) 人を信者に導くための聖化

(2) その人を神の目から見て、すでに完全に聖いという地位を与える聖化。この地位は、信者となった瞬間に与えられます。

(3) 信者の内側をその地位にふさわしい者へと変えていく聖化

(4) その人の内側から罪の存在そのものをなくしてしまう、そしてその体にも罪の影響を全く残さない聖化。これは、最終的聖化、あるいは栄化と呼ばれます。

第3節 「聖化」はどのように起きるのか

1. 聖化は、信者がメシアにあって行われる
 - (1) I コリ 1:2 「聖徒として召され、キリスト・イエスにあって聖なるものとされた方々へ」
 - (2) I コリ 1:30 「あなたがたは、神によってキリスト・イエスのうちにあるのです。キリストは、私たちにとって、神の知恵となり、また、義と聖めと、贖いとに なられました。」

聖化は、信者が自分の努力や実績で得ようとしても、受けられるものではない。「キリストにあって」という地位にあること、ここが、聖化が起きる領域である。

2. 信者が聖化される時、その経路は、神のことばである
ヨハ 17:17 「真理によって、彼らを聖め別ってください。あなたのみことばは真理です。」 → 信者は、神のことばによって取り分けられ、清められる。
3. 聖化が起きる基盤は、メシアの血である
 - (1) ヘブ 13:12 「ですから、イエスも、ご自分の血によって民を聖なるものとするために、門の外で苦しみを受けられました。」
 - (2) ヘブ 13:20~21 「永遠の契約の血により羊の大牧者、私たちの主イエスを死者の中から導き出された平和の神が、イエス・キリストにより、御前でみこころにかなうことを私たちのうちに行い、あなたがたがみこころを行うことができるために、すべての良いことについて、あなたがたを完全な者としてくださいますように。」・・・原文における主語と述語は下線部のところ、そのほかの部分、主語や述語についての説明を加えているところ。
 - ① 主語：今や、平和の神が、
 - ② 主語についての説明：そのお方は、死者の中から導き出した（誰を）羊の大牧者を、永遠の契約の血にあって、我らの主、イエスを
 - ③ 述語：あなたがたを完全な者としてくださいますように・・・「完全な者」とは、霊的に成長して大人になった者という意味。ヘブル人への手紙では、「完全」というキーワードが幾度も出て来るが、その意味は、「成熟」である。欠点がないとか、全く罪を犯さないということではない。

④ 述語についての説明

- どの領域で完全な者とされるのか・・・すべての良いことについて → 良いことを備えてくださるのも神である
- 何の目的で完全な者とされるのか・・・信者が神のみこころを行うことができるために
- それはどのような動機から発するのか・・・御前でみこころにかなうことを私たちのうちに行って（直訳：神が、神の目から見て喜ばしいことを私たち信者の内側で行って）→動機は、神の喜びである
- それは誰を通して行われるのか・・・イエス・キリストを通して

信者の聖化は、メシアを通して行われる。それは、メシアが永遠の契約の血を流して私たちの主となられたからである。メシアの血が注ぎかけられて、信者はメシアの民として別に取り分けられる。その目的は、信者が神のみこころを行うためである。神は、信者一人一人に良いことを備えておられる。信者がそれを行うことができるように、信者をこの世から取り分け、霊的に成長させてくださる。

4. 聖化が起きる場所、十字架の上である

- (1) ヘブ 10：10 「イエス・キリストのからだは、ただ一度ささげられたことにより、私たちは聖なるものとされているのです。」・・・十字架の上で、メシアが死んでくださったので、信者は、聖なるもの、聖徒とされ、神の目から見て「完全に聖い者」という地位を与えられた。
 - (2) ロマ 6：3～6 「キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたではありませんか。私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあつて新しい歩みをするためです。もし、私たちが、キリストにつき合わされて、キリストの死と同じようになっているのなら、必ずキリストの復活とも同じようになるからです。私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが滅びて、私たちがもはやこれからは罪の奴隷でなくなるためであることを、私たちは知っています。」
- ① キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた＝キリスト・イエスの中へバプテスマされた（浸ひた・された）

- ② その死にあずかるバプテスマを受けた＝彼の死の中にバプテスマされた
- ③ いのちにあつて新しい歩みをする＝いのちの新しさにおいて歩む、新しいいのちの中で歩む。「新しいいのち」とは、救われたときに与えられた新しい性質である。「霊」(ロマ8:10)とも呼ばれる。
- ④ 私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられた＝私たちの内にある罪の性質がキリストとともに十字架の上で処罰された。「古い人」とは、罪の性質である。そもそも古い人とはアダムを指すが、ここではアダムの墮落によって入ってきた罪の性質を意味する。
- ⑤ 罪のからだが減びて＝罪のからだが無力化されて。減びると訳されている^ギカヌルゲオウ、消失することではなく、「機能を失う、無力化する」という意味。罪の性質は残っているが、信者を支配する力は喪失している。信者は、もはや罪の奴隷ではない。

信者が罪の奴隷でなくなったのは、キリストの死の中にバプテスマされたからである。自分のからだ、罪に支配されていたからだも、キリストとともに十字架の上に釘付けにされて死んだのだと、信仰をもって知るとき、信者の内側に聖化が起きる。

5. 信者が聖化を受け取る^{手段}は、信仰である

(1) 使 26 : 18 「それは彼らの目を開いて、暗やみから光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、わたしを信じる信仰によって、彼らに罪の赦しを得させ、聖なるものとされた人々の中にあつて、御国を受け継がせるためである。」

① パウロに与えられた使命は次の3つである

- 彼ら（イスラエルと諸国民＝異邦人）の目を開く
- 暗やみから光に、サタンの支配から神に立ち返らせる
- 彼らに罪の赦しを得させ、御国（^ギキレイロス相続財産）を得させる

② 相続財産を得るのは、彼らが一人一人で受けるのではなく、「わたし（イエス・キリスト）にある信仰によって、聖なるものとされた人々の中にあつて」である。つまり、教会の信者たちが一体となって、相続財産を受けるのである。

信者は、信仰によって義と認められ、信仰によって聖化される。「信仰によって救われる」というときの救いには、義認だけでなく、聖化も含まれる。聖化もまた、信仰によって受け取るものである。